

各中学校区の様々な交流活動

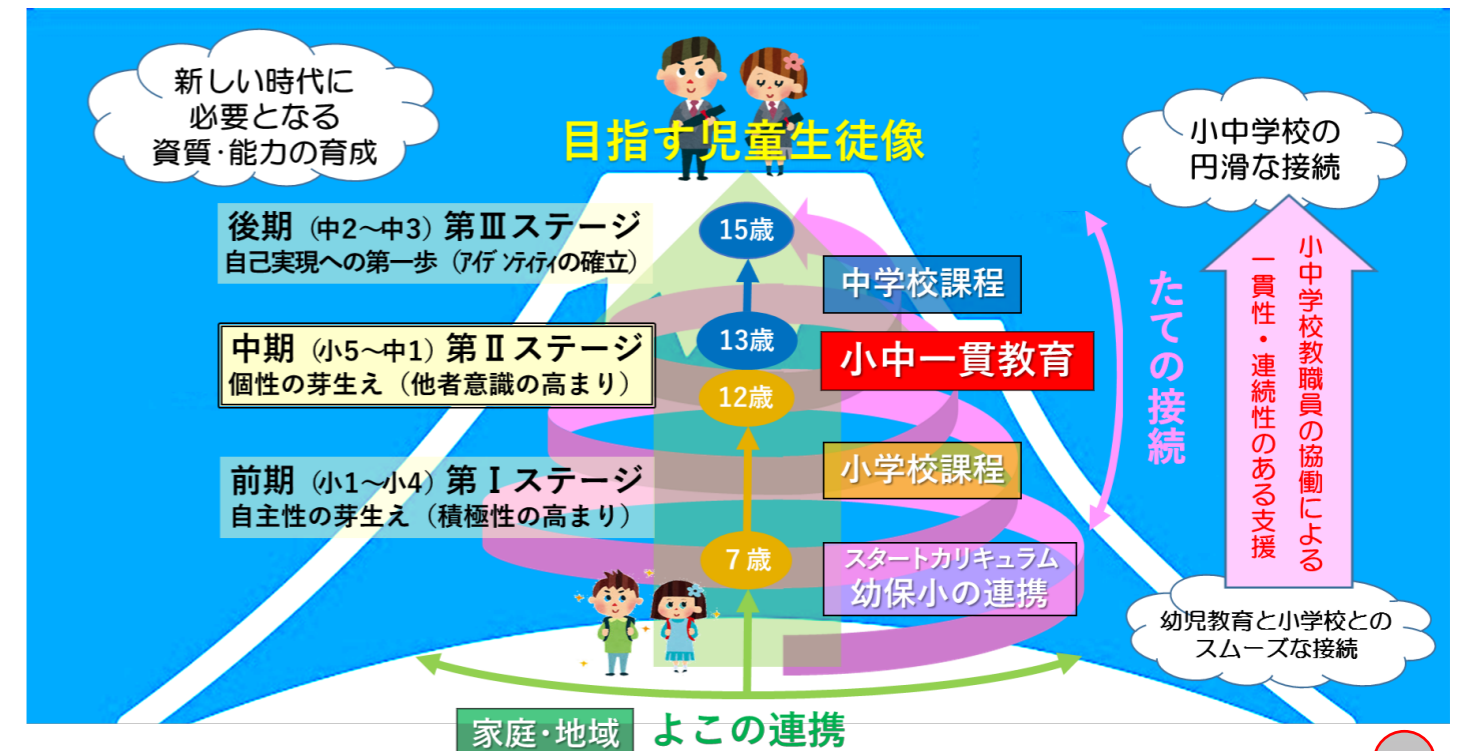
- 吉原一中校区：3校合同引き渡し訓練(会場：吉原小・伝法小)
一中生が卒業小学校へ移動し、小学生とともに引き渡し訓練に参加。
- 吉原二中校区：WAC (Wednesday Area Clean) (今泉小、青葉台小、吉原二中)
朝ゴミ拾いなどのボランティアを、3校同日に実施。
- 吉原三中校区：特別支援学級交流会 (吉永一小、富士見台小、原田小)
丸火で3小の交流会を実施。(火おこし、ピザ作り、焼き芋等)
- 吉原東中校区：「伝統芸能をつなげよう」
吉原東中生が、吉永一小の5、6年生に、「神楽」「第六天太鼓」「大籠の舞」を披露。
- 元吉原中校区：「交通安全教室」
元吉原小の交通安全教室に元吉原中の1年生が参加。
(元小6年生の発表を聞き、質疑)
- 須津中校区：「1000人集会」(東小、須津小、須津中)
2小1中での全児童生徒の交流を深める集会の開催。
- 大淵中校区：学年毎に同学年同士の交流会(小小交流)
大淵二小の児童が大淵一小に行き、交流会を実施。
- 富士中校区：「いいとも交流」
地元のNPOと連携し、畑作業を通して富士一小、富士中央小6年生同士の交流。
- 田子浦中校区：「生徒会・児童会小中交流会」
小中の役員の交流を図り、中学校の様子や委員会活動に関する理解を深める。
- 岩松中校区：「ひと涼みプロジェクト」
岩松中と岩松北小の保健委員会の熱中症対策活動。
岩松中生が作った紙芝居を、岩松北小の保健委員が自校の児童対象に読み聞かせを実施。
- 富士南中校区：「あいさつ7」(毎月7の付く日に実施)
ボランティア有志による中学生が、富士二小と富士南小に行き、朝のあいさつ活動を実施。
- 鷹岡中校区：「鷹中プロジェクト」(会場：天間小・鷹岡小)
鷹岡中3年生による小学6年生への中学校紹介。
- 岳陽中校区：「新入生入学説明会」(広見小、丘小)
岳陽中3年生の最優秀金賞の学級が小学生に合唱を披露。
- 吉原北中校区：文化発表会及び小学校3校交流会(富士見台小、吉永二小、神戸小)
3校の小学6年生による吉原北中の文化発表会参加と交流会の実施。
- 富士川一中校区：「校内放送交流」(富士川一小)
富士川一中の部活動と体育祭の種目の紹介を、小学校の給食時に放送。
- 富士川二中校区：「文化発表会：午前」
富士川二中の文化発表会に富士川二小の5・6年生が参加し、中学生の合唱を聴くとともに、小学生も合唱を披露。
- 「松野スマイル(小中合同集会)：午後」
小学校1年生から中学校3年生までの9学年が一堂に会し、生徒会が主体となってゲームをしながら交流を深める。



つながる学び ひろがる未来 富士市の小中一貫教育



9年間のつながりを大切にした
教育活動を推進しています。



本市の小中一貫教育は、義務教育9年間を一体的に捉え、子どもの発達段階や各学年での特徴を十分に理解するとともに、小中学校の教職員の協働による一貫性・連続性のある支援へと教育活動の質を高めます。

また、小中学校がともに目指す子ども像(15歳になった時の子どもたちの姿)を共有し、新たな時代に必要な資質や能力を育成することを目標に取り組んでいきます。

令和2年10月

富士市教育委員会

○富士市小中連携一貫教育についてのご意見やご質問は、下記の担当までお願いします。

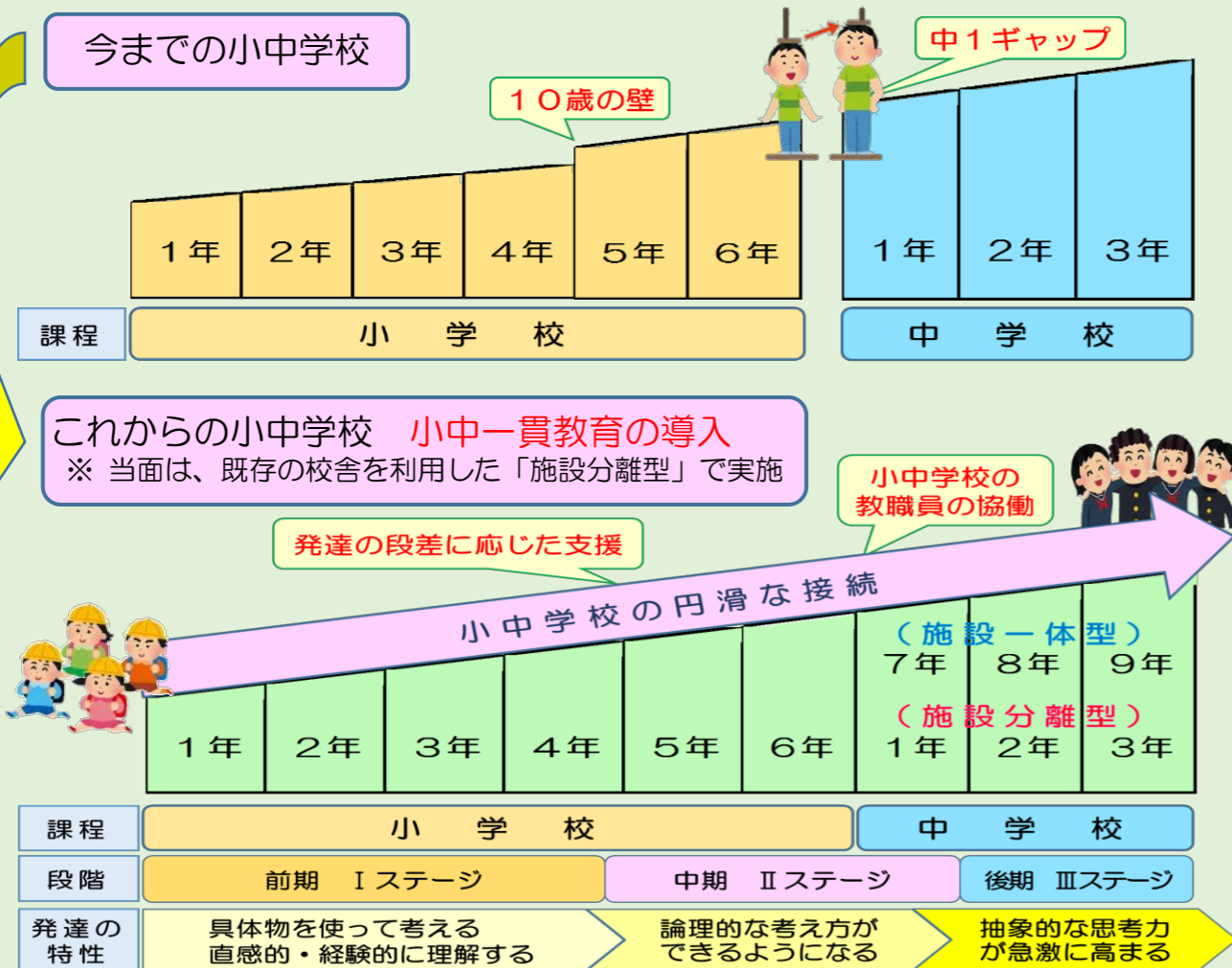
富士市教育委員会 教育総務課 教育政策担当

〒417-8601 富士市永田町1丁目100番地 TEL: 0545-55-2865 FAX: 0545-53-8584

E-mail: kyouiku@div.city.fuji.shizuoka.jp URL: <http://www.city.fuji.shizuoka.jp/>

富士市の小中一貫教育

《義務教育9年間で、前期・中期・後期の3つのステージに…》



子どもの発達段階に応じて、義務教育9年間で前期4年間の第Iステージ、中期3年間の第IIステージ、後期2年間の第IIIステージの3つのステージに捉え直し、小中学校の教職員の協働による学習支援や生徒支援を実践し、一貫性・連続性のある支援へと教育活動の質を高めていきます。

特に本市では、この**中期を小中一貫教育の要の時期**と位置づけ、子どもたちの発達段階に十分配慮し、子どもの実態に合わせた丁寧な支援を実践することにより、9年間の義務教育が滑らかにつながることを目指します。

小中一貫教育の推進により

- 切れ目のない子ども理解ときめ細かな支援
- 学びの積み重ねを重視した授業づくり
- 地域の教育力を生かした学校づくり 等

期待される教育効果

安定した学校生活
「確かな学力」の向上
「豊かな人間性」の醸成

小中一貫教育に向けた具体的な取組例

学校をつなぐ組織づくり



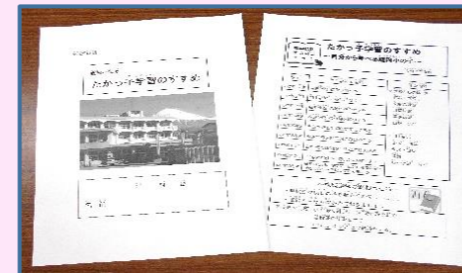
義務教育9年間の学習支援や生徒支援等をつなぐための組織づくりを進め、各中学校区における「目指す児童生徒像」を設定し、9年間の学びと育ちの連続性を重視した教育を推進します。

小中の校種を越えた授業づくり



小中学校の教職員の合同研修を通して、子どもたちの学び合いによって、思考力や判断力、表現力を高めていけるような授業づくりを目指しています。

9年間を見通した家庭学習



家庭学習の習慣化や学力の定着を図るため、小中学校共に、家庭学習のすすめを作成し、各学年における家庭学習の目標や学習時間の目安を示しています。

小中間の乗り入れ授業や教科担任制の一部導入



乗り入れ授業や教科担任制を一部で導入し、より専門的な授業を実施することによって、子どもたちの知的好奇心に応じた授業が一層可能となり、学習に対する意欲や関心が高まります。

異年齢交流で互いに成長



中学3年生が小学校を訪問し、中学校生活の様子を紹介することにより、小学生の進学に対する漠然とした不安が解消され、中学生にとってはリーダーとしての資質の向上が期待できます。

地域の教育力の活用



地域の「人・もの・こと」を、学習内容や学習教材、学習の場として活用し、体験活動を重視した、子どもの感性に働きかける豊かな学びを展開します。